

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和5年10月24日(2023.10.24)

【公開番号】特開2023-139233(P2023-139233A)

【公開日】令和5年10月3日(2023.10.3)

【年通号数】公開公報(特許)2023-186

【出願番号】特願2023-122283(P2023-122283)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/41(2006.01)

A 6 1 K 31/496(2006.01)

A 6 1 P 25/18(2006.01)

A 6 1 P 43/00(2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/41

A 6 1 K 31/496

A 6 1 P 25/18

A 6 1 P 43/00 1 2 1

10

【手続補正書】

【提出日】令和5年10月16日(2023.10.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

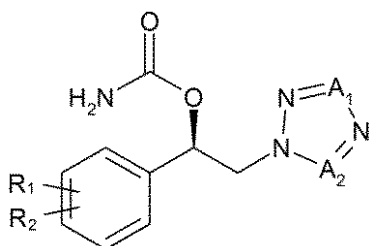
【請求項1】

(a) 下記式(1)

【化1】

20

30



(1)

(式中、R₁及びR₂が、それぞれ独立して、水素、ハロゲン、C₁－C₈アルキル、ハロC₁－C₈アルキル、C₁－C₈チオアルコキシ及びC₁－C₈アルコキシからなる群から選ばれ、A₁及びA₂の一方はCHであり、他方はNである。)で示されるカルバメート化合物、又はその薬学的に許容される塩、溶媒和物若しくは水和物；及び

40

(b) アリピプラゾール、又はその薬学的に許容される塩、溶媒和物若しくは水和物；を含む、統合失調症の陽性症状、認知症状又は残存症状の予防、軽減又は治療用薬剤。

【請求項2】

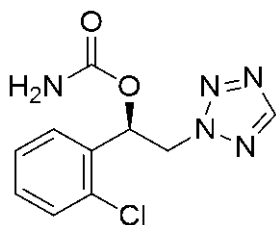
R₁及びR₂が、それぞれ独立して、水素、ハロゲン及びC₁－C₈アルキルからなる群から選ばれることを特徴とする請求項1に記載の薬剤。

【請求項3】

式(1)のカルバメート化合物が、下記式(2)

50

【化 2】



(2)

で示されるカルバミン酸 (R) - 1 - (2 - クロロフェニル) - 2 - テトラゾール - 2 - イル) エチルエステルであることを特徴とする請求項 1 に記載の薬剤。

10

【請求項 4】

式 (1) の化合物を遊離形に基づいて、12.5 mg ~ 500 mg の量で含むことを特徴とする請求項 1 に記載の薬剤。

【請求項 5】

アリピプラゾールを遊離形に基づいて、5 mg ~ 90 mg の量で含むことを特徴とする請求項 1 に記載の薬剤。

【請求項 6】

式 (1) の化合物を遊離形に基づいて、12.5 mg ~ 500 mg を含み、
アリピプラゾールを遊離形に基づいて、5 mg ~ 90 mg を含むことを特徴とする請求項 1 に記載の薬剤。

20

【請求項 7】

統合失調症が、妄想型統合失調症、未分化型統合失調症、潜在性統合失調症、統合失調症後抑うつ、残遺統合失調症、単純型統合失調症、特定不能型統合失調症、統合失調症様障害、統合失調性感情障害、妄想性障害、短期精神病性障害、共有精神病性障害、物質・医薬品誘発性精神病性障害及び原因不明の精神病性障害からなる群から選ばれる一つ以上であることを特徴とする請求項 1 に記載の薬剤。

【請求項 8】

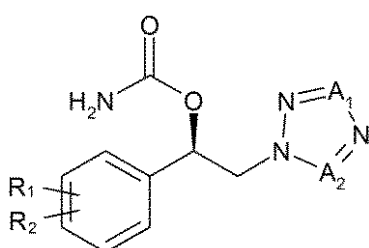
哺乳動物投与用であることを特徴とする請求項 1 に記載の薬剤。

【請求項 9】

30

(a) 下記式 (1)

【化 3】



40

(1)

(式中、R₁ 及び R₂ が、それぞれ独立して、水素、ハロゲン、C₁ - C₈ アルキル、ハロ C₁ - C₈ アルキル、C₁ - C₈ チオアルコキシ及び C₁ - C₈ アルコキシからなる群から選ばれ、A₁ 及び A₂ の一方は CH であり、他方は N である。) で示されるカルバメート化合物、又はその薬学的に許容される塩、溶媒和物若しくは水和物；及び

(b) アリピプラゾール、又はその薬学的に許容される塩、溶媒和物若しくは水和物；を含む、統合失調症の陽性症状、認知症状又は残存症状の予防、軽減又は治療用キット。

【請求項 10】

成分 (a) 及び (b) が、同時に又は順次に投与されることを特徴とする請求項 9 に記載のキット。

50

【請求項 1 1】

成分 (a) 及び (b) が、別々に投与されることを特徴とする請求項 9 に記載のキット。

【請求項 1 2】

成分 (a) 及び (b) が、別個の投薬単位剤形であることを特徴とする請求項 9 に記載のキット。

【請求項 1 3】

(a) 式 (1) のカルバメート化合物、又はその薬学的に許容される塩、溶媒和物若しくは水和物を含む第 1 組成物；及び

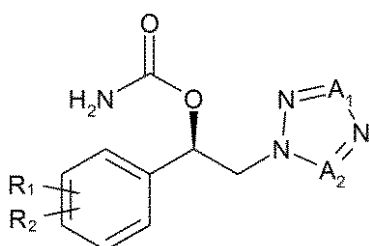
(b) アリピプラゾール、又はその薬学的に許容される塩、溶媒和物若しくは水和物を含む第 2 組成物；

を容器内に含有することを特徴とする請求項 9 に記載のキット。

【請求項 1 4】

下記式 (1)

【化 4】



(1)

(式中、 R_1 及び R_2 が、それぞれ独立して、水素、ハロゲン、 $C_1 - C_8$ アルキル、ハロ $C_1 - C_8$ アルキル、 $C_1 - C_8$ チオアルコキシ及び $C_1 - C_8$ アルコキシからなる群から選ばれ、 A_1 及び A_2 の一方は CH であり、他方は N である。) で示されるカルバメート化合物、又はその薬学的に許容される塩、溶媒和物若しくは水和物を含み、さらに薬学的に許容される担体を 1 種以上含む統合失調症の陽性症状、認知症状又は残存症状の予防、軽減又は治療用医薬組成物であって、

医薬組成物が、アリピプラゾール、又はその薬学的に許容される塩、溶媒和物若しくは水和物との組み合わせでの使用のための医薬組成物。

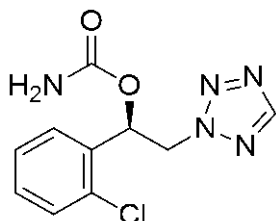
【請求項 1 5】

R_1 及び R_2 が、それぞれ独立して、水素、ハロゲン及び $C_1 - C_8$ アルキルからなる群から選ばれることを特徴とする請求項 1 4 に記載の医薬組成物。

【請求項 1 6】

式 (1) のカルバメート化合物が、下記式 (2)

【化 5】



(2)

で示されるカルバミン酸 (R) - 1 - (2-クロロフェニル) - 2-テトラゾール - 2-イル) エチルエステルであることを特徴とする請求項 1 4 に記載の医薬組成物。

【請求項 1 7】

統合失調症が、妄想型統合失調症、未分化型統合失調症、潜在性統合失調症、統合失調

症後抑うつ、残遺統合失調症、単純型統合失調症、特定不能型統合失調症、統合失調症様障害、統合失調性感情障害、妄想性障害、短期精神病性障害、共有精神病性障害、物質・医薬品誘発性精神病性障害及び原因不明の精神病性障害からなる群から選ばれる一つ以上であることを特徴とする請求項 14 に記載の医薬組成物。

【請求項 18】

哺乳動物投与用で製造されたことを特徴とする請求項 14～17 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 19】

式(1)の化合物を遊離形に基づいて、12.5mg～500mgの量で含むことを特徴とする請求項 14～17 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

10

20

30

40

50